

授業科目 解剖学 I

【担当教員名】 奈良 貴史		対象学年	1	対象学科	理学・作業	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	3	時間数	45	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
◎	◎	○	◎			
【概要・一般目標：G10】 解剖学 I では、人体の基本的構造のなかで骨格系と筋系を理解する。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> 骨の機能を説明できる。 骨の構造を説明できる。 関節の構造を説明できる。 頭蓋を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 体幹を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 上肢を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 下肢を構成する骨の名称、位置、機能を説明できる。 筋の機能を説明できる。 筋の構造を説明できる。 頭頸部の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 体幹の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 上肢の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 下肢の筋の名称、起始、停止、作用、支配神経を説明できる。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	骨学総論 骨の機能				1	講義
2	骨学総論 骨の構造				2	講義
3	骨学総論 関節の構造				3	講義
4	骨学各論 頭蓋の骨 顔面頭蓋				4	講義
5	骨学各論 頭蓋の骨 脳頭蓋				4	講義
6	骨学各論 体幹の骨 脊柱				5	講義
7	骨学各論 体幹の骨 胸郭				5	講義
8	骨学各論 上肢の骨 上肢帯の骨				6	講義
9	骨学各論 上肢の骨 上腕・前腕の骨				6	講義
10	骨学各論 上肢の骨 手の骨				6	講義
11	骨学各論 下肢の骨 下肢帯の骨				7	講義
12	骨学各論 下肢の骨 大腿・下腿の骨				7	講義
13	骨学各論 下肢の骨 足の骨				7	講義
14	関節学各論 脊柱の連結				3, 5	講義
15	関節学各論 上肢の連結				3, 6	講義
16	関節学各論 下肢の連結				3, 7	講義
17	筋学総論 筋の機能				8	講義
18	筋学総論 筋の構造				9	講義
19	筋学各論 頭頸部の筋				4, 10	講義
20	筋学各論 体幹の筋				5, 11	講義
21	筋学各論 上肢の筋 上肢帯の筋				6, 12	講義
22	筋学各論 上肢の筋 上腕・前腕・手の筋				6, 12	講義
23	筋学各論 下肢の筋				7, 13	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖 第3版	奈良 勲、鎌倉矩子	医学書院	2010・6,000円＋税	
参考書		骨学実習の手引き	寺田春水、藤田恒夫	南山堂	2000・4,000円＋税	
その他の資料						
【評価方法】 出席状況、期末試験の総合評価			【履修上の留意点】 予習・復習を欠かさないことが重要です。			